

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

湯之奥金山博物館は感染症拡大防止対策を取らせていただいています。今後の状況により、各イベントは中止等の可能性があります。あらかじめご了承ください。

砂金探し 600秒

WAAAAASH!!

GOOOLD!!

手洗い20秒

手洗い・うがい・砂金探し 砂金掘り大会 2020

おしえて☆みやもん先生 第12回化学実験教室 2020年7月23日(土)

疫病退散! 砂金掘り大会ミニ2020 2020年8月1日(土)

“アンチコロナ”で 砂金掘り大会ミニ 2020開催!

8月1日(土) 先着84人

同日午後
中高生のための
“砂金甲子園風”大会
開催計画 

特別な夏に自由研究にトライしてみよう!

館長の 夏休み自由研究相談コーナー

「好きなこと」をやっているときが誰だって一番楽しい。だったら自由研究だって同じこと。自由研究ってどうしたらいいの?という疑問はこれで解決。「自分の好きなこと」や「興味あること」を自由に研究したらいいんだ!金山博物館館長が、いつも奨励しているポイントはまさにこれ。

もし、何かやりたいけど何していいかわからない、やりたいことは決まっているけど課題への取り組み方のヒントがもう少し欲しいなど、「自由研究プロジェクトin金山博物館」は館長による学習相談室です。

受付カウンターの「自由研究相談コーナー開催中」の案内が出ている時は、スタッフさんに声をかけてね。自由研究の糸口がきっとみつかるはず。館長在館中は次の時間帯で随時開催しています。

開催期間：2020年7月18日(土)～8月20日(日)の間の **館長在館中**

時間：午前10:30～12:30 と 午後3:00～4:30

世界的な感染症拡大をのり超えて！新しい時代を開いていくために —歴史的な視野で金山博物館をとりまく危機的な状況を記録する—

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

当館の季刊広報紙『甲斐の金山から—博物館だより』の巻頭に、館長によるミニコラムが掲載されております。それは博物館やその周辺地域の、また金山遺跡をめぐる調査研究上の話題や展望・方針などについてのものであり、広く読者の皆さまに読んでいただくことでいろいろな想いを強くお伝えしたい、という方向性のものでありました。しかし、今回の号については、いささか趣を異にします。何年か後にもう一度目に触れることがあって、ああ、そんな時代を乗り越えてきたんだな、とふりかえる材料になれば、という考えによっています。

まずタイトルにある「世界的な感染症拡大」についてですが、これは昨2019年の末に中国国内で発生し、2020年を迎えるやいなや、瞬く間に世界中に広く拡散していった感染症の流行のことで、国連の専門機関（WHO＝世界保健機構）において新型とされるコロナウイルスに付されたコード、COVID-19が引き起こしたものです。

これが人類にとって、たいへんやっかいな存在であり、この記事作成中の時点では、それとどう付き合っていくかという意味合いで「withコロナ」とかいうことばが多く見聞きされています。でも、個人的には「with」はおかしい。一方で「anti」も使われ出しています。英語の接頭辞のantiは、日本語になると「反」「抗」「対」といった接頭辞とされています。これもいいですが、その場限りの感じがします。やはりovercomeでないと、その先が見えてこないのではないか、そんなふうに思われます。

さて、この感染症が起きていなければ、今ごろ日本国内をはじめ、世界中で、第32回オリンピック東京大会を目前にしてたいへんな盛り上がりを見せていたことと思われます。それが、2021年に延期となり、なおも今年10月頃までに予防ワクチンや治療薬の開発、普及がなけれ

ば、延期された大会の開催も困難となるとの見方もなされています。

これまで大会開催の準備に当てられてきた経費や延期となる間に発生する経費などは、莫大になりますが、その辺りはどうにかできるでしょう。問題は、世界の人々の心の問題だと思われれます。

あらためてVirus・・・についてです。いま日本語では、ウィルスと読まれています。私の子どもの頃にはビールスとっていました。実際の英語ではどうかというと「ヴァイラス」という発音がなされているようです。

このウィルス、コンピュータ分野などでもウィルスは存在していますが、ここでは生物分野に限定です。細胞をもたない極小の生物で、何らかの生物の細胞に入り込むことで生きている、だけでなく入り込んで増殖し、いろいろな病変などを引き起こす、とされています。非常にたくさんのウィルスが存在する中で、コロナウイルスと名付けられた一群があり、記憶に新しいところでは2002～3年のSarsや2012年のMersがいずれもコロナウイルスの仲間でありました。こうしたなかでいま、新たに出てきたのが新型コロナウイルスCOVID-19であり、問題をとても難しくしているのは、感染しても直ぐには症状がでないとか、発症の程度が軽微な場合とかがあって、感染した人が気付かずにさらに周囲の人にうつしてしまったりする点にあり、人それぞれにもつ耐性にも拠りながら次々に広まり、中にはあれよという間に極めて重症化したり、さらには短時間で死に至るケースも多々見られています。

この新型と“付き合っ”いくためには、飛沫感染に備えたマスク着用や人と人との離隔を保つ、いわゆるソーシャルディスタンスが最重要とされています。でも、これが現代的な社会を根底から弱体化させるものとなってしま

いました。病変そのものの症状よりも、必要不可欠ではありますが、感染防止の取り組みが世の中全体をひどく痛めています。

国は、事態を重く見て2020年4月7日に『緊急事態宣言』を発出しました。これが功を奏したかには見えませんが、同じ5月25日に『解除宣言』が発出されています。この間、国を超えた行き来だけでなく、県をまたいだ往来の自粛などをはじめ、複数の人が集まらないようになどの具体的対応が進められたのです。そして一時明るい兆しも見えましたが、夏前にして再び状況が悪化するのではないかとという恐れがでています。

現代社会は、人の物理的な動きに加え、電子上の往来が浸透してきていて、PC通信などによる在宅勤務や遠隔学習などの対応策が提起され具体的な取り組みが展開されて来るようになりました。でも、博物館などは、なかなかそうはいきません。貴重な文化遺産に直にふれることで、過去を知り、現代をとらえ直し、将来を展望するための重要なアイテムである博物館などにとっては大きな打撃となりました。

よく博物館施設などの評価をめぐって、年間入場者数などが取り上げられますが、新型コロナウイルスによってそれは全国各地（ないしは世界中）で、たいへんな落ち込みになりました。しかし、博物館には数字だけではなく、本来のあり方の部分で深く暗い陰を落とすことになってしまっています。

実際のところ展示関係に限ってみても、この間に予定されていた企画展などが、準備は出来ていたのに1日も開くことなく終わってしまった例（東京国立博物館「法隆寺金堂壁画と百済観音」3/17～5/10など）や、1年近くかけて大

幅な改修工事を実施し4月はじめにリニューアルオープンを計画したものの延期措置がとられた例（釈迦堂遺跡博物館）など、さまざまな影響が出ています。

かくいう当館でも、4月11日から5月24日まで臨時休館を行いました。例年、春のゴールデンウィークには非常にたくさんのお客さまが見え、年間利用者数の多くがここに集中していましたので、数字的にいうだけでも大打撃です。再開後も利用者数は慎重な動向を見せています。

この休館の措置を、バネとすべく、この間に当館がどんな取り組み、経過をもっていかは今号の各頁にも現れてもいます。

これから夏の、例年なら繁忙期という段階を迎えます。でも、今年はどうだろうか。既に当館の年間行事の最大の呼び物である砂金掘り大会は縮小され、「砂金甲子園」も中止とさせていただいております。学校や職場も国の非常事態宣言下を中心にお休みなどした影響で、夏休みないしはお盆休みが短縮ということにもなっているようです。いま、梅雨末期に当たるなかで集中豪雨などの自然災害も列島各地を襲っています。ほんとに世の中、立ち直れるのかと心配になってきました。

でも、そうした状況をしっかり支え、なんとか踏ん張っていくことの支えとなるのは、大仰な言い方に映るかも知れませんが、1つに博物館があると言いたいと思います。「新型コロナウイルスへのovercomeは、博物館から！」そんなスローガンを心にとめて、じっくり歩みを進めていかなければならない…。そんな2020年の初夏となりました。

2年目を迎えた館長講座『峽南の考古学』

昨年度からの館長講座、少しばかりの好評をいただいておりますが、今年度も開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施計画の修正が余儀なくされています。館内での座学と博物館から飛び出でての隣地学習の2本立ては変わらないところですが、状況の推移を見て、今後の開催のご案内を考えております。今しばらくの猶予の後、博物館ホームページでお確かめください。

活動報告

企画展「甲斐の金山500年」

当初開催予定より約2か月遅れとなりましたが、政府の緊急事態宣言を受けての臨時休館明けの5月25日から博物館再開と同時に、エントランス壁面では「いでさんぼ・2019から話題を集めて～地域の歴史や魅力を見てある記～」、そして多目的ホールでは「甲斐の金山500年」をスタートさせました。

現在、山梨県内の「黒川金山遺跡」（甲州市）と「中山金山遺跡」（身延町）の2つが、1997（平成9）年に「甲斐金山遺跡」として国史跡に指定されています。実は、黒川・中山以外にも山梨県内には甲斐金山遺跡予備軍ともいえる遺跡が数多くあります。これらの遺跡もしっかりとした調査研究、保存活用の道を付与されるなどの方向性が整えば、国の史跡に追加されていく、という当時からの文化庁の方向性も含まれている中、山梨でのキーワード「500年」を金山に重ねた3部構成でパネル解説を中心に紹

5月25日(月)～6月28日(日)

介。発掘による考古資料、または文献資料が、歴史を解明する上で一体どういう意味を持つのかなど、常設展示室では解説されていない部分も含めつつ、改めて甲斐金山遺跡の意義を俯瞰する意図となっていました。また、古く「甲斐」といった山梨県内に残る数々の金山遺跡については、これまでに当館で行った現場踏査による調査情報や遺跡へのアクセスなどが織り込まれており、特に第3部の“甲斐金山遺跡に成り得る県内各地の金山遺構”のコーナーでは、多くの方が興味深そうにじっくり見ていました。

外出自粛の影響で、いつもより少なめの来館状況の中、期間終盤に地元のテレビ、新聞等に取り上げていただき、感染症の恐怖にずみがちな昨今の状況の中で、「ニュースを見てきました」と多くのお客様が足を運んでくださいました。



令和2年度第1回運営委員会

6月30日(火)



博物館運営に関するご審議を委員の先生方にいただく今年度第1回目の運営委員会を、ソーシャルディスタンスを可能な限り取った上で所要時間にも留意しつつ開催いたしました。現在の世情を受けた状況下ならではのご意見やご助言を多々頂くことができ、大変有意義な会議となりました。関係の皆さまに厚く感謝申し上げます、いただいた貴重なご意見を今後の館運営に大いに活かしてまいります。



臨時休館中のお仕事風景

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が政府から出され、4月11日(土)～5月24日(日)までの約一か月半、当館も臨時休館でした。世間でも、多くの博物館のスタッフはその間、何をしているのか、そんな疑問が話題になりました。例にもれず「お休みで大変だね!」「お客さんが来ないならやることないでしょ?」。そんな声が多方から聞こえてきましたが、その質問にここで答えたいします。

身延町役場の生涯学習施設の一機関の当館ですから、通常の役所事務なども多々あります。そこに博物館のお客様対応や調査研究など大きな役割があるのです。当館では、この“お客様不在部分の時間”をスタッフ総出のメンテナンス作業の時間に充てました。全ては、再び開館した時にお客様が「笑顔」で、より気持ち良く博物館を楽しんでもらうため!体験室、エントランス、駐車場、足湯、展示改修等々…。作業の様子をほんの少し写真で紹介いたします。



「日本砂金地図」 展示コーナー全面バージョンアップ!



全国を股にかけて活躍する博物館応援団AU会、砂金掘り友の会の皆様と、砂金掘りを趣味にしている方々のご協力から“進化する展示”として、当館の目玉展示としての人気コーナー。

「日本全国どこの川にも砂金はある。黄金の国ジバングは本当だ!」というテーマで、日本全国47都道府県の砂金で出来上がっている「日本砂金地図」。皆様のおかげでこの砂金展示が、より一層充実したことを受け、この臨時休館中にバージョンアップしました。

これまで手薄だった西日本側の砂金資料でしたが、縁のある関係者の皆様のおかげで、特に九州地方はすべての県の自然砂金が展示ケースに並びました。さらに今回は、掘り師の間では難攻不落と言われている沖縄の砂金も含まれています。世界広しといえども当館でしか出来ないであろうこの自然砂金展示「日本砂金地図」。砂金掘りは楽しいけれど決して簡単ではなく大変な労力が必要です。

一つひとつの砂金資料に込められた皆様方の並々ならぬ努力とご厚意に、この場を借りて深く感謝の意を申し上げます。

ご来館の際はぜひご注目ください。

砂金資料寄贈者 (敬称略・五十音順)

天野 直人/諫山 浩士/井村 智子/犬伏 弘樹/今北 佳興/岩井 一泰/大野 直樹/大森 直之/
岡田 玲子/岡本 康司/勝本 伸一郎/木内 寛/木村 伸之/桐戸 雅光/小瀧 辰徳/小林 彰/
齋藤 勝幸/佐藤 淳/新町 正/鈴木 正文/銭谷 清人/高岡 伸五/田村 夏暉/寺田 昭/
中村 軒一/野中 誠人/野村 敏郎/朴 洪國/バスカリーニ・ルカ/原澤 英美/人見 仁菜/
平野 岳/平野 友梨/広瀬 義朗/保坂 信一/本間 純/丸岡 正明/三木 昌信/山本 有一/
横山 実/吉澤 功

疫病退散!! いろいろ違う 今年の夏イベント 感染症対策に配慮して 参加者受付中!

砂に混入した決められた数の砂金を、制限時間内に早く正確に落とさずパanningできるか!?

今年は規模を縮小したミニ大会として、午前中に一般大会、午後は、現在の世情を受け、休止となった「砂金甲子園」に代わって、中高生のためのミニ学校大会を開催。いずれもエントリー受付中! 参加したいと思ったらお気軽に、博物館までご連絡ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を施したうえでの開催となります。マスク着用、3密空間回避のため、控え・待機・観戦場所は、博物館テント及び会場特設テント下をご利用ください。マスク着用時は、各自ソーシャルディスタンスを保ちながら着脱し、熱中症予防にも努めてください。参加者の皆様のご協力をお願いいたします。

砂金掘り大会ミニ2020 (於 湯之奥金山博物館専用駐車場)

期 日: 令和2年8月1日(土) 9:00~15:10

主 催: 湯之奥金山博物館・協力: 湯之奥金山博物館応援団Au会、砂金掘り友の会

参加費: 大人 500円、小中学生 300円

定 員: 全部門合わせて 最大84人まで(7月25日(土)締切)

種 目: 1試合10分/競技者14人まで

*ジュニア部門 6kg/10分(小学生~中学生)

*男女一般部門 10kg/10分(高校生以上の男女)

決勝戦 一般上位10人が16kg本戦進出/15分



※今年は頂上決戦はありません。ジュニア、男女一般でそれぞれ第3位まで決定。第3位まで賞状授与、部門優勝者には小さなもーん父さん(純銀製)授与! 参加先着50名様までに、競技終了後のアンケートと引き換えにオリジナルエコバッグプレゼント!(あおい商店 提供)

ミニ
ゲーム

①本気のMyパanning皿(事前申込10人まで)7kg/7分 ※ただしフラットパンは不可

②おもしろMYパanning皿部門(10人まで)5kg/7分 ※本来、パanning皿ではないもの

おしえて☆みやもん先生! 第12回化学実験教室

化学の不思議と魅力を分かりやすく教えてくれるのは、お馴染み、開成中高の宮本一弘先生! 対象は小中学生です。1実験だけでも全実験でも自分の興味に合わせて参加OK。意外に身近な化学の不思議に触れてみよう!

期 日: 令和2年7月23日(祝・木) 各実験定員15人(要事前申込)、1実験各200円

【講師】宮本一弘先生(開成中学高等学校理化学部顧問、NHK高校講座講師/化学基礎)

【共催】公益社団法人日本化学会

第1時限 9:30~10:30「光の不思議」①コップの中をカラフルにしよう! ②光を分けよう!

第2時限 11:00~12:00「水と空気不思議」①真空保存容器を使った実験(演示) ②浮沈子を作ろう!

持ち物: 炭酸飲料用ペットボトル(500ml)

第3時限 13:30~14:30「キッチンで科学実験」

①洗剤の不思議 1円玉を浮かべる!? ②洗剤の不思議 どうして油汚れが落ちるの?

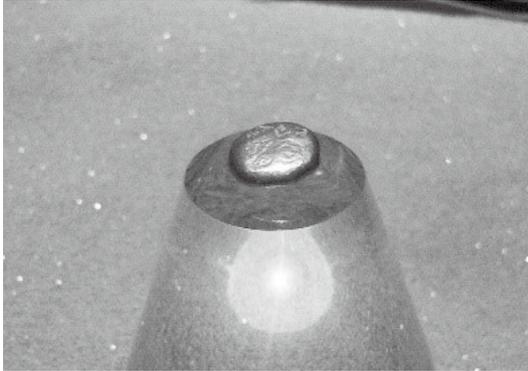
持ち物: 1円玉×5枚

※1 第20回 激烈☆おやこ金山探険隊は、定員に達しているため申込受付を終了しています。また今後の状況を鑑み新規募集は致しません。

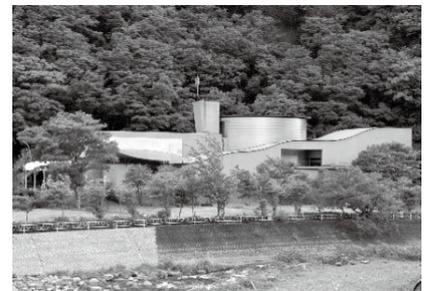
※2 今年予定しているすべてのプログラムは、感染症拡大状況によって、それぞれ中止等の可能性があります。あらかじめご了承ください。

お申し込みくださった皆様、ありがとうございました。ご参加される皆様は準備万端整えて、当日をお楽しみに。

町民のみなさん!! 金山博物館にいらっしやーい★



中部横断自動車道の全線開通後や
その先の新しい時代のわが「身延町」を
誇りに思っていけるよう、
町の歴史に触れる時間を過ごしてみませんか。



ここは身延町の重要な歴史のひとつを見て、触れ、体験できる町立の生涯学習施設です。この場所を町民のみなさまに、生涯学習の充実・地域活性化の交流の場として利用してもらうことが、博物館の大きな目標とするところです。そこで・・・

2020年 9/13(日)～9/19(土) 今年もやります！身延町民WEEK

町民のみなさまの当館を利用するきっかけになればと、身延町の合併記念日(9/13)から7日間、町内在住の方の常設展示の無料観覧・体験の1割引を実施します。「身延町民だけど実は一度も博物館に来たことがない」という方、前回おいでになれなかった方、この機会にお立ち寄りください。なお、町内在住ということが分かるものをお示しください。

もちろん通常開館いたしておりますので、町外の皆様方もいつもの通り、お越しください。
皆さまのご来館をお待ちしております。

もーん父さんの応援は 町内外関係なく よろしくお願ひします！

**ゆるキャラグランプリ2020 THE FINAL ～未来へつなく いわて幸せ大作戦～
もーん父さんエントリー中！**



参加することに意義がある！博物館をPRすべく、自粛中も毎日せっせと頑張るもーん父さんが『ゆるキャラグランプリ2020 THE FINAL』に、今年も恒例エントリーしています！WEB上の投票がスタートしています。我らがもーん父さん、ファイナルではいったい何位まで浮上できるのか!? 皆様の応援にかかっています！



早くもあの企画が帰ってきた。。。。。。！
「GET!GOLD&SILVER」リターンズ★
2020年8月3日よりスタート！

昨年、大好評だった「GET!GOLD&SILVER」。今回は、砂金採りをしながら気軽にゆる〜く楽しめるステキなイベント「GET!GOLD&SILVER リターンズ★」として再び・・・！

エントリー切不要。皆さんはいつもの30分間の「砂金採り体験」をいつもどおり楽しむだけ！

イベント期間中は、体験水槽に砂金と一緒に純銀粒が混入されています。時間内に採れた銀粒は砂金容器に入れて持ち帰ってOK。スタッフへの申告も不要。常時混入されているきれいな石感覚で集められます。こんなご時世だからこそ、体験時間くらいちょっぴりラッキー気分になっちゃおう。もちろん純銀粒を集めるか集めないかはあなた次第☆

しかし！ただ集めるだけでは物足りない！そんな体験室リピーターのあなたにプレゼント☆



なんと純銀粒を100粒集めたら、金山博物館ならではのステキな景品と交換できちゃいます。100粒なら金箔。200粒なら、当館名物土産・金箔入りワイン or 金箔入りしいたけ茶と交換☆

金価格が最高値を記録し続けるこのご時世だからこそ、砂金だけでなく、銀の粒もたまるダブルのお楽しみをどうぞ♥

イベント期間は2020.8.3(月)～2021.3.21(日)

チャレンジしてみない？

編集後記

すべてが“今までどおり”にはならない今年。当館イベントも当初予定よりも大きく変わっています。感染症対策を施しながらの日常生活にも少し慣れてきたところではありますが、油断禁物です。県外の合宿などの中止決定が多い今年は中高生主役の「砂金甲子園」はやむなく次回としましたが、それ以外の夏イベントは感染症対策を施したうえで規模縮小して開催いたします。とはいえ、今の段階にあつてさえ、まだどうなるかはわからない状況が続いています。

でもせっかく企画しているのだから、イベントチラシはできるだけ明るくポップにみんなにお知らせしたい、そんな思いを込め、今年の周知チラシは砂金採りと手洗いを奨励するもーん父さんを前面に出したデザインになっています。

そして、夏休みスタートして間もなくの8月3日(月)より、砂金採り体験室での新企画がスタートします。その名も「GET!GOLD&SILVER リターンズ★」。その名のとおり、昨年のお好評企画をちょっとアレンジして再開です。詳細は上記！そして実際に砂金採り体験にきて楽しんでみてください！

博物館だより

第92号 令和2年7月15日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん  